

第2学年

令和2年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

臨床教育専攻科

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	古典講読 (第2学年 水曜日 前期：4時限目)
担当講師	浦山 きか
授業の目標 授業の概要	漢文を読むための知識を身につけ、医学古典を自分でひもとき、問題解決する。

授業計画

前期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/ 8	オリエンテーション：漢文の基礎と『靈枢』
2	4/15	『靈枢』口問第二十八の読解
3	4/22	『靈枢』口問と諸病
4	5/13	曲直瀬道三と老人医学 その1
5	5/20	曲直瀬道三と老人医学 その2
6	5/27	曲直瀬道三「医則五十七条」の読解（前半）
7	6/ 3	曲直瀬道三「医則五十七条」の読解（後半）
8	6/10	朱丹溪と養老論
9	6/17	本草書の歴史と読み方
10	6/24	方書の歴史と読み方
11	7/ 1	『千金方』大医精誠の医療倫理 その1
12	7/ 8	『千金方』大医精誠の医療倫理 その2
13	7/15	李中梓「不失人情論」にみる医療倫理
14	7/22	前期内容の復習とまとめ
15	8/ 5	評価・点検

後期

回	月 日	講義内容

教科書	『漢文で読む『靈枢』増補改訂版』（アルテミシア、2018年）
参考書	随時指示する。
評価方法 評価基準	担当分と提出物で30点、期末試験で70点。資料を正しく使って漢文によって意味を正しくとれているかをみる。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	外国語（医学英語—基礎と実践）（第2学年 水曜日 後期：3時限目）
担当講師	大槻 健蔵
講義の目標 講義の概要	<p>English（英語）は世界で最も使用されている国際語であり、東洋医療領域と卒業研究に関する最新情報の活用に極めて重要である。Englishを上手く活用するために、（1）英文で記載されている東洋医学分野の情報の正確な理解；および（2）卒業研究論文の英文AbstractとSummaryの作成にも重要である。これらに適した教材（基礎医学と鍼灸領域の学术论文）を基礎と実践とに分けて段階的に英語力を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英文研究論文（Article）の重要情報を正確に理解出来るようになる。 2. 最新の国際情報を正確に理解して卒業研究や医療活動に活用する。 3. 卒業研究のAbstract（抄録）とSummary（要約）を英文でまとめる。 4. 近い将来、国際学会での研究発表や学術誌への論文の掲載を目指す。

授業計画

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 9	基礎情報 ：（1）医療分野で使用されている英語の理解と習得法の解説。 （2）現時点での英語力を把握するために、基礎的な Test を行う。 Test 結果と英語理解力に合った教材を使用する。
2	9/16	基礎-1： Biology Textbook （基礎生物学-1）生命科学の基礎英語の理解
3	9/23	基礎-2： Biology Textbook （基礎生物学-2）生命科学の基礎英語の理解
4	10/ 7	基礎-3： Basic Medical Science （基礎医学-1）人体機能の英語の理解
5	10/14	基礎-4： Basic Medical Science （基礎医学-2）人体機能の英語の理解
6	10/21	実践-1： 鍼灸英語 （教材-I-①）- 鍼灸領域での基礎英語の理解
7	10/28	実践-1： 鍼灸英語 （教材-I-②）- 鍼灸領域での基礎英語の理解
8	11/11	実践-2： 鍼灸英語 （教材-I-③）- 鍼灸領域での基礎英語の理解
9	11/25	実践-3： 鍼灸英語 （教材-II-①）- 鍼灸治療での実践的な英語の理解
10	12/ 2	実践-3： 鍼灸英語 （教材-II-②）- 鍼灸治療での実践的な英語の理解
11	12/ 9	実践-4： 鍼灸英語 （教材-II-③）- 鍼灸治療での実践的な英語の理解
12	12/16	実践-5：（1）卒業研究論文の Abstract （抄録）の解説と英作文 -1 （2）国際鍼灸学会講演（2017）の英文抄録の日本語訳 -1

1 3	1/13	実践-6 : (1) 卒業研究論文の Abstract (抄録) の英作文 - 2 (2) 国際鍼灸学会講演 (2017) の英文抄録の日本語訳 - 2
1 4	1/20	実践-7 : (1) 卒業研究論文の Abstract (抄録) の英作文 - 3 (2) 国際鍼灸学会講演 (2017) の英文抄録の日本語訳 - 3
1 5	2/ 3	完成 Abstract の発表、および本教科の教育内容に関する自由論議と総括

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		/

資料と辞書	<ul style="list-style-type: none"> 1. 毎回、配布資料を用いて講義を行う。 2. 英和辞典と和英辞典を必ず持参する。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 1. 鍼灸マッサージ師のための英会話ハンドブック (重要参考書) ワイマン・ゴードン、大響理香 共著、医道の日本社 ¥2,500 (+加税) 2. 日本医学英語教育学会編「総合医学英語テキスト」メジカルビュー社 ¥2,800
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 1. 東洋医学領域に用いられている英語の基礎と理解力を総合的に評価する。 2. 卒業研究の Abstract と Summary の英文表現と論理を評価する。 3. 卒業研究のまとめ、重要論点や発表での質疑応答を総合的に評価する。 4. 講義での積極的な質問を評価に加える。

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 9	自分をつくり変える「学問」—田中正造の人生と林竹二の思想
2	9/16	人間になるための「学問」—林竹二の授業「人間について」
3	9/23	人間と教育への希望—林竹二と湊川高校生との出会い
4	10/ 7	生きることと学ぶこと—林竹二の湊川での「学問」
5	10/14	「賢い」とはどういうことか—林竹二の問い
6	10/21	教育の根底をなす「生命への畏敬」—須賀川養護学校の実践
7	10/28	自己の内なる力を引き出す医療と教育—乾達と林竹二の対話
8	11/11	教師に求められる力—斎藤喜博の実践
9	11/25	子どもが「見える」—斎藤喜博の自己訓練
10	12/ 2	技を「身につける」—西岡常一の仕事
11	12/ 9	技の伝承—小川三夫の挑戦
12	12/16	感性を育む教育—佐藤忠良の仕事
13	1/13	友情という関係—佐藤忠良と舟越保武
14	1/20	試験〈教育原理に関するレポート作成〉
15	2/ 3	評価・点検

教科書	なし。毎時間、必要な資料を配布する。
参考書	林竹二『教育の再生をもとめて』筑摩書房、西岡常一 他『木のいのち木のこころ』新潮文庫
評価方法 評価基準	講義の内容をふまえ、各自がさらに深く追求したいテーマを決め、学期末に、学びを振り返るレポートを作成する。レポートをもとに、受講者がお互いに意見を出し合い、討論する。毎回の講義での学習と、レポートの内容、報告、討論を、評価の材料とする。問題をどれだけ深く追求しているか、事実を具体的に分析しているか、医療・教育において自分の実践を創る指針を得ているか、を評価の観点とする。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育心理学 (第2学年 月曜日 前期:1時限目)
担当講師	久保 順也
授業の目標 授業の概要	教育という営みに貢献する心理学的知見を概説する。 「教育」という行為や、その対象となる子どもから大人までの人間一般に関する心理学の諸理論を学び、具体的事例を基に実際の教育や支援のあり方について考える。

授業計画

前期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/ 6	前期オリエンテーション・心理学とは何か
2	4/13	教育という行為に関する心理学：その1 学習の理論
3	4/20	教育という行為に関する心理学：その2 動機づけの理論
4	4/27	人間の発達に関する心理学：その1 乳児期・幼児期
5	5/11	人間の発達に関する心理学：その2 児童期・青年期・成人期・老年期
6	5/18	人を支援することに関する心理学：その1 精神分析学・人間中心療法
7	5/25	人を支援することに関する心理学：その2 行動療法・家族療法
8	6/ 1	支援の方法としての心理学：その1 カウンセリングについて
9	6/ 8	支援の方法としての心理学：その2 心理検査について
10	6/15	具体的事例から考える：その1 精神障害
11	6/22	具体的事例から考える：その2 心身症とストレス
12	6/29	具体的事例から考える：その3 摂食障害
13	7/ 6	具体的事例から考える：その4 発達障害
14	7/13	具体的事例から考える：その5 認知症
15	8/ 3	評価・点検

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育心理学 (第2学年 月曜日 後期:2時限目)
担当講師	越中 康治
授業の目標 授業の概要	教育心理学に関する基礎的事項を理解するとともに、発達・教育に関する理論の多様性にふれる中で、自らの発達観・教育観・人間観を見つめなおす。 教育心理学の基礎的事項を概説するとともに、心理学の分野におけるさまざまな発達・教育に関する理論を紹介する。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
		\

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 7	後期オリエンテーション
2	9/14	指導観・発達観の多様性
3	9/28	現職教師の指導観・発達観
4	10/ 5	しつけに対する考えの多様性
5	10/12	遊びと学びと教育①：遊ぶ子どもの姿から
6	10/19	遊びと学びと教育②：遊びを見守る大人の姿から
7	10/26	発達と学習に関する基礎理論
8	11/ 2	経験主義と理性主義：言葉の発達を例に
9	11/ 9	発達障害：幼児の事例から
10	11/16	特別支援教育と心理学
11	11/30	道徳性の発達と教育①：精神分析的理論，社会的学習理論，認知的発達理論
12	12/ 7	道徳性の発達と教育②：社会的認知理論と社会的領域理論
13	12/14	道徳性の発達と教育③：伝統的アプローチと発達のアプローチ
14	1/18	まとめにかえて：教育の現場の事例から
15	2/ 1	評価・点検

教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	指定しない。授業の中で紹介する。
評価方法 評価基準	試験，授業中に提示する小レポート，出席状況をもとに総合的に評価する。

和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育社会学 (第2学年 水曜日 前期:2時限目)
担当講師	本田 伊克 (ほんだ よしかつ)
授業の目標 授業の概要	学校をはじめとした教育機関で行われる「教育」という営みについて、以下の視点から考えることができるようになることを目標とする。 ①私たちの社会のあり方は、教育にいかなる影響を及ぼし、そのあり方を規定しているか。②教育はこの社会をよりよくするために何ができるか。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 8	教育社会学とはどんな学問かー「社会」から「教育」をみる
2	4/15	学校という制度と時間・空間(1)ー近代国民国家と近代学校
3	4/22	学校という制度と時間・空間(2)ー学校の秩序と文化
4	5/13	教育と社会階級・階層(1)ー学校は格差を拡大する?
5	5/20	教育と社会階級・階層(2)ー学校は不平等是正のために何ができるか
6	5/27	学校教師とはどのような存在か(1)ー教師の抱える課題と困難
7	6/ 3	学校教師とはどのような存在か(2)ー「教員文化」とその組み替え
8	6/10	学校教師とはどのような存在か(3)ー教育改革と教師
9	6/17	ナショナリズムと教育・学校
10	6/24	授業とは何か(1)ー「学校知識」という視角から
11	7/ 1	授業とは何か(2)ー「教師-生徒関係」から
12	7/ 8	若者は今をどのように生きているか
13	7/15	学校から社会への<移行>はどうか
14	7/22	これからの社会と教育
15	8/ 5	評価・点検

後期

回	月 日	講義内容
		\

教科書	久富善之・長谷川裕編『教育社会学（第2版）』学文社、2019年
参考書	講義で適宜紹介する。
評価方法 評価基準	① 平常点（講義内課題含む）（30%）、②最終レポート（70%）の割合で評価する。 基準については、教育社会学の基本的な考え方について理解し、教育と学校をめぐる諸問題に対する考察に生かせるかどうかを中心に評価する。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育方法 (第2学年 火・金曜日 全期:1時限目)
担当講師	本間 明信
授業の目標	人間にとっての教育の意味と, 教育に関する学問についての理解。
授業の概要	教育のための体系・法則の意義を理解する。 指導計画の立案, 実現のための演習。 授業研究の目的の理解。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/10	教育学の定義。教育の意味。
2	4/17	ルソー『エミール』について。
3	4/24	コメニウス『大教授学』について。
4	5/ 8	指導案の歴史
5	5/15	意識されない学習 (視覚論 1)
6	5/22	意識されない学習 (視覚論 2)
7	5/29	教育と体系 1
8	6/ 5	無意識 (I) 文化人類学, 他
9	6/12	無意識 (II) 無意識の例
10	6/19	無意識 (III) 無意識を探る・ユング「連想実験」「夢
11	6/26	単純化の原理 (星・太陽・月)
12	7/ 3	生活の中での教育 (季節・特別な日、旧暦)
13	7/10	教材開発の原則 1
14	7/17	教材開発の原則 2
15	8/ 7	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
16	9/ 8	教育と体系2 教えるための体系1 (周期表)
17	9/15	教育と体系2 教えるための体系2 (楽譜の歴史)
18	9/29	色塗りの教授学1
19	10/ 6	色塗りの教授学2
20	10/13	メディアと教育
21	10/20	授業観察の方法 (1) 心の変化と身体
22	10/27	授業観察の方法 (2) 日本の障害児教育の原点=専攻科教員養成
23	11/10	授業観察の方法 (3) 心の変化の様々な表れ (感情と表情)
24	11/24	授業観察の方法 (4) 心の変化の様々な表れ (授業中の子どもたち・連動)
25	12/ 1	ものづくりの原則1
26	12/ 8	ものづくりの原則2
27	12/15	学校教育と教科書
28	1/12	教育改革と社会の変化
29	1/19	アメリカの教育と日本の教育 (正反対の双子)
30	2/ 2	評価点検

教科書	なし
参考書	その都度紹介
評価方法 評価基準	<p>前期はレポート提出 (重要ポイントがクリアできているかどうか)。</p> <p>後期はペーパーテスト (単純な記憶を問う、練習問題を課してその中から 50 問、出題)。</p>

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育実習 (第2学年 火・金曜日 全期:2時限目)
担当講師	本間 明信
授業の目標 授業の概要	学生の前にたつて、講義、実技、概念の教示を行い、教育実践の実際を体験しながら学ぶ。実践に先立つ教材研究、授業プラン作成の方法を学ぶ。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/10	発問論 1
2	4/17	発問論 2
3	4/24	教材の理解・構想
4	5/ 8	指導案をつくる 1
5	5/15	指導案をつくる 2
6	5/22	実習計画 (教材の選択/ビデオカメラの操作)
7	5/29	実習計画 (教材解釈 1)
8	6/ 5	実習計画 (教材解釈 2)
9	6/12	実習計画 (指導案。事前演習)
10	6/19	教壇実習 1
11	6/26	教壇実習 2
12	7/ 3	実習の振り返り 1
13	7/10	実習の振り返り 2
14	7/17	実習記録の作成 1
15	8/ 7	実習記録の作成 2

後 期

回	月 日	講 義 内 容
16	9/ 8	授業記録を読む。報告を聞く
17	9/15	何のために授業を研究するのか1
18	9/29	何のために授業を研究するのか2
19	10/ 6	実習計画（教材解釈1）
20	10/13	実習計画（教材解釈2）
21	10/20	実習計画（指導案）
22	10/27	実技実習1
23	11/10	実技実習2
24	11/24	実習の振り返り
25	12/ 1	研究成果まとめ
26	12/ 8	実習計画1
27	12/15	実習計画2（指導案）
28	1/12	コンセプト実習（簡潔にまとめる）
29	1/19	実習の振り返り
30	2/ 2	評価点検

教科書	なし
参考書	なし
評価方法 評価基準	実習の内容から総合的に評価する。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体形態学論（解剖実習） (第2学年 木曜日 後期：2時限目)
担当講師	市川 博之
授業の目標 授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の仕組みと様々な疾患との関連について理解する。 ・臨床的な視点に立った解剖実習を行い、人体の機能やその障害について考察する ・東北大学歯学部B棟1階 解剖実習室 授業計画に記載

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
		\

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	8/29	解剖体実習 剥皮
2	8/29	解剖体実習 上肢 1
3	8/31	解剖体実習 上肢 2
4	8/31	解剖体実習 下肢 1
5	8/31	解剖体実習 下肢 2
6	8/31	解剖体実習 胸部・腹部
7	9/ 1	解剖体実習 骨盤部
8	9/ 1	解剖体実習 背部
9	9/ 1	解剖体実習 頸部
10	9/ 1	解剖体実習 頭部
11	9/ 2	学生による解剖実習内容の説明と考察 1
12	9/ 2	学生による解剖実習内容の説明と考察 2
13	9/ 2	学生による解剖実習内容の説明と考察 3
14	9/ 2	まとめ
15	9/24	評価・点検

教科書	なし
参考書	適宜、プリントなどを配布する。 スネル臨床解剖学 南山堂 ￥14,000(税引) など
評価方法 評価基準	レポート及び実習中の口頭試問による

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体形態学論（解剖実習） （第2学年 月曜日 後期：1時限目）
担当講師	市川 博之
授業の目標 授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の仕組みと様々な疾患との関連について理解する。 ・臨床的な視点に立った解剖実習を行い、人体の機能やその障害について考察する ・東北大学歯学部B棟1階 解剖実習室 授業計画に記載

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
		\

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 7	解剖体実習 剥皮
2	9/14	解剖体実習 上肢 1
3	9/28	解剖体実習 上肢 2
4	10/ 5	解剖体実習 下肢 1
5	10/12	解剖体実習 下肢 2
6	10/19	解剖体実習 胸部・腹部
7	10/26	解剖体実習 骨盤部
8	11/ 2	解剖体実習 背部
9	11/ 9	解剖体実習 頸部
10	11/16	解剖体実習 頭部
11	11/30	学生による解剖実習内容の説明と考察 1
12	12/ 7	学生による解剖実習内容の説明と考察 2
13	12/14	学生による解剖実習内容の説明と考察 3
14	1/18	まとめ
15	2/ 1	評価・点検

教科書	なし
参考書	適宜、プリントなどを配布する。 スネル臨床解剖学 南山堂 ￥14,000(税引) など
評価方法 評価基準	レポート及び実習中の口頭試問による

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体形態学論（組織学） （第2学年 木曜日 前期：1時限目）
担当講師	笹野 泰之
授業の目標 授業の概要	人体を構成する細胞と組織の形態および機能について学ぶ。 講義では、細胞が組織を構成し、組織が器官をつくり、さらに人体が構築されることを分かりやすく解説する。顕微鏡で標本を観察する実習では、自分の目で組織の特徴を捉える力を養う。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 9	組織学総論 ① 細胞
2	4/16	組織学総論 ② 上皮組織と結合組織
3	4/23	組織学総論 ③ 骨組織と軟骨組織
4	5/ 7	組織学総論 ④ 筋組織と神経組織
5	5/14	組織学各論 ① 消化器 口腔と食道
6	5/21	組織学各論 ② 消化器 胃と小腸・大腸
7	5/28	組織学各論 ③ 消化器 肝臓と膵臓
8	6/ 4	組織学各論 ④ 血管と心臓
9	6/11	組織学各論 ⑤ 呼吸器
10	6/18	組織学各論 ⑥ 泌尿器
11	6/25	組織学各論 ⑦ 生殖器
12	7/ 2	組織学実習（顕微鏡観察）①
13	7/ 9	組織学実習（顕微鏡観察）②
14	7/16	組織学実習（顕微鏡観察）③
15	8/ 6	評価・点検

後期

回	月 日	講義内容

教科書	特に指定しないが、適宜、資料のプリントを配布する。
参考書	同上。
評価方法 評価基準	レポートや口頭試問等で総合的に評価する。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体形態学論 (病理学) (第2学年 金曜日 後期:1時限目)
担当講師	市川 博之
授業の目標 授業の概要	正常な人体の構造や機能を基に、それらの異常の機序・病態・予後を理解する。 スライドを用いて、できるだけわかりやすく解説するとともに、光学顕微鏡の使用して、ヒトの病理組織標本のプレパラートを適宜、観察する。

授業計画

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/11	病理学とは・細胞障害
2	9/18	代謝障害
3	9/25	炎症・修復・再生・線維化
4	10/16	免疫・膠原病
5	10/23	循環障害
6	10/30	遺伝と疾患
7	11/13	腫瘍
8	11/27	血液・造血器系の疾患
9	12/ 4	循環器系の疾患
10	12/11	呼吸器系の疾患
11	12/18	消化器系の疾患
12	1/ 8	腎・泌尿器・生殖器系および乳腺の疾患
13	1/15	内分泌系の疾患
14	1/22	脳・神経・筋肉系の疾患
15	2/ 5	評価・点検

教科書	特に使用しないが、毎回プリントを配布する。
参考書	なし
評価方法 評価基準	レポートと口頭試問により総合的に評価する。

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1		循環器の疾病
2		呼吸器の疾病
3		顕微鏡実習
4		消化器の疾病
5		顕微鏡実習
6		泌尿器の疾病
7		生殖器の疾病
8		顕微鏡実習
9		造血器の疾病
10		顕微鏡実習
11		内分泌系の疾病
12		神経系の疾病
13		運動器の疾病
14		感覚器の疾病
15		評価・点検

教科書	特になし（プリント配布）
参考書	病理学概論 2 版（東洋療法学校協会編）医歯薬出版（3100 円＋税） わかりやすい病理学 6 版（岩田隆子監）南江堂（2700 円＋税）
評価方法 評価基準	レポート作成とそれに関する試問

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 9	微生物学総論 ：人間は、いつ感染症を発症させる病原微生物の存在に気付いたか？ 微生物の進化と生物学的な特徴の解説
2	9/16	各論-1：グラム染色法による細菌の分類（陽性菌と陰性菌）と特徴 各論-2：好気性菌と嫌気性菌の種類と感染症および細菌性毒素の生理作用
3	9/23	各論-3：食中毒の原因菌の種類と特徴、および食材、感染ルートと感染予防
4	10/ 7	各論-4：結核菌の特徴、感染ルートおよび感染予防 各論-5：小児と高齢者が多発する感染症（風邪と肺炎）の特徴と予防
5	10/14	各論-6：細菌感染症の治療薬（抗生剤）の抗菌作用と薬剤耐性化の仕組み
6	10/21	各論-7：真菌（カビ）、マイコプラズマやリケチャの特徴と感染症
7	10/28	ウイルス学総論 ：ウイルスの特徴（粒子の形態と構成）と細胞内での増殖様式
8	11/11	各論-1：DNA型ウイルスとRNA型ウイルスの特徴と感染症 各論-2：インフルエンザウイルスとコロナウイルスの大流行による社会混乱
9	11/25	各論-3：肝炎ウイルスの種類と感染症の特徴 各論-4：インターフェロン（IFN）の抗ウイルス作用と IFN による治療
10	12/ 2	各論-5：レトロウイルス（HIV-1）の特徴とエイズ（免疫不全症）の発症 各論-6：がんウイルス（HPVやHCV）によるがん発症の仕組み
11	12/ 9	免疫学総論 ：人間は、何時どのようにして生体の「免疫」に気づいたか？ 各論-1：生体防御（自然免疫と獲得免疫）の仕組み
12	12/16	各論-2：骨髄幹細胞から免疫担当細胞の分化と免疫系での生理的役割 各論-3：抗原（病原細菌やウイルスなど）の識別と抗体産生の仕組み
13	1/13	各論-4：免疫系の調節（食材成分、運動や睡眠の免疫能との関係） 各論-5：免疫低下の主な要因と感染症（風邪や肺炎、そしてがん）の発症
14	1/20	各論-6：ワクチンの理論と種類、および感染症の予防効果 各論-7：新しいがん治療法（免疫療法）の仕組み
15	2/ 3	評価・点検 （本教科での重要課題での発表と自由論議、および総括）

教科書	項目毎に配布資料を用いて講義を行う。教科書は使用せず、参考書とする。
参考書	南嶋洋一他著：「系統看護学講座 微生物学」医学書院 小熊恵二、東匡伸編著「コンパクト微生物学」南江堂 生田哲著「感染症と免疫のしくみ」日本実業出版社
評価方法 評価基準	本教科の重要課題で最も興味ある課題での発表を行って総合的に評価する。 自由課題のまとめ、重要な論点の記載、発表での論議応答などを評価する。 講義中での積極的な質問も評価に加える。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体機能学論 (第2学年 火・金曜日 全期:2時限目)
担当講師	和泉 博之
授業の目標 授業の概要	人体の生理機能についてその意義と機構を理解する。 生理機能の基礎と調節機構を中心に授業する。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 7	生理学総論:生理学とは、生体の恒常性、細胞の機能
2	4/14	神経-1:神経の分類、末梢神経、中枢神経
3	4/21	神経-2:神経の興奮、シナプス伝達、神経筋の伝達、神経線維の分類
4	4/28	神経-3:末梢神経の区分、機能的分類
5	5/12	神経-4:脳神経
6	5/19	神経-5:脊髄神経
7	5/26	神経-6:自律神経
8	6/ 2	神経-7:中枢神経の構造、大脳、間脳、脳幹、小脳、脊髄
9	6/ 9	筋-1:筋の構造、筋長と張力の関係
10	6/16	筋-2:筋収縮機序、誘発筋電図
11	6/23	筋-3:興奮収縮連関
12	6/30	感覚-1:感覚一般
13	7/ 7	感覚-2:痛覚の分類
14	7/14	感覚-3:視覚、味覚、聴覚、平衡感覚
15	8/ 4	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
16	9/11	内分泌-1：ホルモンの化学的分類、セカンドメッセンジャー
17	9/18	内分泌-2：視床下部一下垂体系
18	9/25	内分泌-3：甲状腺・上皮小体ホルモン、膵臓ホルモン
19	10/16	内分泌-4：副腎ホルモン、性腺ホルモン
20	10/23	循環-1：心臓構造、刺激伝導系、心臓の神経支配
21	10/30	循環-2：心電図、心音、血圧の調節
22	11/13	循環-3：血管の構造と機能
23	11/20	呼吸-1：呼吸のメカニズム、肺容量、外呼吸、内呼吸
24	11/27	呼吸-2：呼吸の調節
25	12/ 4	体温-1：体温調節
26	12/11	排泄-1：泌尿器の構造、尿の生成
27	12/18	排泄-2：排尿・排便機序、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系
28	1/ 8	消化：口腔内消化、嚥下、胃での消化吸収
29	1/15	生殖：性周期、受精と妊娠
30	2/ 5	評価点検

教科書	学生時代に利用した教科書
参考書	ビジュアル生理学・口腔生理学
評価方法 評価基準	定期試験と各单元ごとの小テストの筆記試験

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	公衆衛生 (第2学年 木曜日 前期:2時限目)
担当講師	仲井 邦彦
授業の目標 授業の概要	病気に対する基本的対処は、発症後に診断・治療することである。その一方で病気を発症する前に予防することも大切である。このため予防医学的な視野から病気について理解を深める。さらに国民の健康水準を把握する方法を学び、病気の原因について、人間—環境系の中で考えてみたい。具体的には、単に沢山の知識を獲得するのではなく、エビデンス療の考え方を理解しつつ、生活習慣や環境要因と病気の関連性について情報を収集・整理し、理解することを目指し、演習課題を中心に授業を進める。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 9	公衆衛生学の目的、意義、疾病予防の概念、健康の定義
2	4/16	エビデンスに基づく医療：エビデンスとは何か？
3	4/23	[演習] RCT とその結果の見方
4	5/ 7	現在の疾病構造の特徴と推移
5	5/14	五大疾病のうち、がんの定義、がんの原因
6	5/21	がんの疫学
7	5/28	[演習] 喫煙とその健康影響
8	6/ 4	[演習] 飲酒の功罪
9	6/11	[演習] 塩分摂取の抑制
10	6/18	[演習] 野菜摂取の意味
11	6/25	[演習] 運動習慣の重要性
12	7/ 2	[演習] 低炭水化物栄養の課題と展望
13	7/ 9	認知症および精神疾患の特徴とその推移
14	7/16	[演習] うつ傾向と生活習慣
15	8/ 6	後期試験（評価・点検）：演習課題の中から自由選択で小論文の作成

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	特に指定しない。
参考書	
評価方法 評価基準	演習では事前に資料を提供し、担当を決めて報告を行ってもらう。演習での報告や議論、及び後期試験（小論文の執筆）の成績で評価を行う。評価基準は、a) 客観的な事実を正しく把握しているか、b) すでに解明されたことと解明されていないことを区別し、c) 自身の意見をしっかりと述べることができるか、による。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	医療概論 (第2学年 火曜日 前期:1時限目)
担当講師	渡邊 誠
授業の目標 授業の概要	医療が対象とするヒトは身体機能と精神機能とから成り、人間としての尊厳を持つ。殊更、悩める患者に医療者として対応するとき、その心得は大切である。この視点に立って、本医療概論では、生命倫理、医療倫理、研究倫理などを概説し、「患者中心の医療とは」、「医療の安全とは」など、受講者と共に深く掘り起こしてみたい

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/7	個体と人(ヒト)
2	4/14	健康の概論1
3	4/21	老人として生きる・老いに伴う生理的変化
4	4/28	疾病の構造
5	5/12	ノーマライゼーションの考え方 社会変革の必要と医療従事者の役割
6	5/19	医療を支える人々・チーム医療
7	5/26	患者中心の医療
8	6/2	医療倫理の概論(生命倫理、研究倫理等)
9	6/9	医療倫理の四原則
10	6/16	医療従事者と守秘義務
11	6/23	QOLを目指した現代医療
12	6/30	医療者の倫理
13	7/7	医療者—患者の倫理
14	7/14	医学—社会の倫理
15	8/4	評価・点検

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学特論 I (第2学年 火曜日 前期:3・4時限目)
担当講師	小林 巖
授業の目標 授業の概要	子午流注鍼法を臨床に応用できるまで学習します。 また医古文の勉強を通じて、古典の知識を身につけます。

授業計画

前期

回	月 日		講義内容
1	4/ 7	3	子午流注鍼法の穴取法 (本経の補母瀉子法)
2		4	子午流注鍼法の穴取法 (本経の補母瀉子法の穴取法)
3	4/14	3	子午流注鍼法の穴取法 (時間で穴取法)
4		4	子午流注鍼法の穴取法 (経絡で穴取法)
5	4/21	3	子午流注鍼法の養子時刻注穴法-1 理論
6		4	子午流注鍼法の養子時刻注穴法-1 応用
7	4/28	3	霊亀八法の歴史
8		4	霊亀八法の原理
9	5/12	3	霊亀八法の応用
10		4	奇経八脈の分部、作用
11	5/19	3	霊亀八法と八脈
12		4	霊亀八法の時間計算
13	5/26	3	霊亀八法と穴取法
14		4	子午流注鍼法と霊亀八法 (1)
15	6/ 2	3	子午流注鍼法と霊亀八法 (2)

後期

回	月 日		講義内容
16	6/ 2	4	扁鹊伝 (1)
17	6/ 9	3	扁鹊伝 (2)
18		4	扁鹊伝 (3)
19	6/16	3	扁鹊伝 (4)
20		4	華佗伝 (1)
21	6/23	3	華佗伝 (2)
22		4	華佗伝 (3)
23	6/30	3	華佗伝 (4)
24		4	内径 (1)
25	7/ 7	3	内径 (1)
26		4	内径 (1)
27	7/14	3	傷寒論 (1)
28		4	傷寒論 (2)
29	8/ 4	3	傷寒論 (3)
30		4	評価・点検
	/		

教科書	なし
参考書	「子午流注針経」、「実用子午流注鍼法」
評価方法 評価基準	出席状況、学習態度、試験成績の総合評価。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学特論Ⅱ (第2学年 月曜日 前期:2時限目)
担当講師	浦山 久嗣 (実務経験のある教員)
授業の目標 授業の概要	テーマ: 鍼灸臨床総合治療学 目標: 鍼灸臨床のための鑑別診断と総合的な治療法を身に着ける。 概要: 症状別の弁証論治・理法方術を習得する。

授業計画

前期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/ 6	臨床各論①婦人科疾患
2	4/13	臨床各論②周産期の管理
3	4/20	臨床各論③小児科疾患
4	4/27	臨床各論④高血圧症
5	5/11	臨床各論⑤高脂血症・高尿酸血症・糖尿病
6	5/18	臨床各論⑥アレルギー疾患
7	5/25	臨床各論⑦帯状疱疹
8	6/ 1	臨床各論⑧顔面麻痺
9	6/ 8	臨床各論⑨口内炎・口角炎・舌炎・歯肉炎・口唇ヘルペス
10	6/15	臨床各論⑩頭髮に関する疾患
11	6/22	臨床各論⑪上肢の疾患Ⅰ
12	6/29	臨床各論⑫上肢の疾患Ⅱ
13	7/ 6	臨床各論⑬下肢の疾患Ⅰ
14	7/13	臨床各論⑭下肢の疾患Ⅱ
15	8/ 3	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		/

教科書	『針灸治療大全』（張文朝進ほか編、相場美紀子ほか訳、東洋学術出版社刊） ¥10,000-(+税)
参考書	
評価方法 評価基準	期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔各課程〕 (第2学年 金曜日 後期：3・4時限目)
担当講師	糟谷 俊彦
授業の目標 授業の概要	診察法と治療法および対応法を実践により知る 手技療法による、症例別の治療法を知る 検査法等により、症例別の鑑別、適応、禁忌を知る 症例別による鑑別診断を、適切に説明する方法を知る

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/11	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
2		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
3	9/18	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
4		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
5	9/25	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
6		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
7	10/16	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
8		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
9	10/23	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
10		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
11	10/30	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
12		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
13	11/13	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
14		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
15	11/27	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/27	4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
17	12/ 4	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
18		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
19	12/11	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
20		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
21	12/18	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
22		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
23	1/ 8	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	問診票、カルテ、主訴等からの病態把握 (33) 治療方針の決定、治療 (34) 鑑別診断の適切な説明 (33)

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔各課程〕 (第2学年 木曜日 後期：3・4時限目)
担当講師	平栗 辰也
授業の目標 授業の概要	<p>あま指治療に用いる手技療法や施術時介助法等を実際に実施して、その必要性を理解し、患者さんに有効に施術治療サービス提供することができる。</p> <p>(1) 臨床上多い症例へのあま指の手技を実践施術治療できるよう習得する。</p> <p>(2) 症例に対するあま指施術が有効であることを鑑別し、適切に説明できる。</p> <p>(3) 患者施術時に必要な介助法や対応法などを理解し応用実践できる。</p>

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講義内容
1	9/10	3	講義：あん摩マッサージ指圧の治療の実際と手順について（オリエンテーション） 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
2		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
3	9/17	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
4		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
5	9/24	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
6		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
7	10/ 8	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
8		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
9	10/15	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
10		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
11	10/22	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
12		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
13	10/29	3	講義：あん摩マッサージ指圧の治療の実際と手順について（オリエンテーション） 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
14		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
15	11/12	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討

後 期

回	月 日	時限	講義内容
16	11/12	4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
17	11/26	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
18		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
19	12/ 3	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
20		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
21	12/10	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
22		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
23	12/17	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討

教科書	「あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>」（医道の日本社）等
参考書	配布資料プリント等
評価方法 評価基準	授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢（20%） 試験（筆記試験）または（口頭試問＋実技試験）・レポート（50%） 臨床実習時における治療施術後の患者様満足度モニタリング（30%）

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔各課程〕 (第2学年 金曜日 前期：3・4時限目)
担当講師	武藤 永治
授業の目標 授業の概要	1. これまで身につけてきた鍼灸あん摩マッサージ指圧療法等の専門知識や技術を、実際の臨床場面で適切かつ能率的に応用する能力を育てる。 2. 専門の知識や技術以外でも、臨床に必要な諸事項を体得し、治療者として自らを向上させていこうとする態度を養う。

授業計画

前期

回	月日	時限	講義内容
1	4/10	3	授業ガイダンス 診察の進め方と治療効果の評価、カルテの記載等
2		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理① 病と疾患、医療者患者関係
3	4/17	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)
4		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理② かかわり行動
5	4/24	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)
6		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理③ 医療面接の方法、質問の仕方
7	5/ 8	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)
8		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理④ 傾聴
9	5/15	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)
10		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理⑤ 支持と共感
11	5/22	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)
12		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理⑥ 要約と確認
13	5/29	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)
14		4	外来患者の施術(回診指導) 臨床倫理⑦ 焦点付け
15	6/ 5	3	予約患者の確認 外来患者の施術(回診指導)

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/ 5	4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑧ 面接で聞き出すべきこと
17	6/12	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）
18		4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑨ 終結の仕方
19	6/19	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）
20		4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑩ 病歴聴取の実際の流れ
21	6/26	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）
22		4	外来患者の施術（回診指導） 課題の整理と提出（症例報告レポート）
23	7/ 3	3	評価・点検

教科書	
参考書	ファッショナルリリーステクニック 医道の日本社 ¥4,950
評価方法 評価基準	出席を重視し、前期をとおしての実習態度および各種実技の習熟度等を総合して評価する。 評定は、5段階評価で行う。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔各課程〕 (第2学年 月曜日 前期：3・4時限目)
担当講師	浦山 久嗣
授業の目標 授業の概要	テーマ：鑑別診断と臨床力の向上 目標：鍼灸臨床のための弁証論治と西洋医学的鑑別診断の知識・技術のさらなる向上を目指す。 概要：日常遭遇しやすい病態・病証における鑑別診断と治療の技術を身に着ける。

授業計画

前期

回	月 日	時限	講義内容
1	4/ 6	3	総合的な診断情報の運用と合理的な鍼灸臨床のための知識と技術の向上
2		4	〃
3	4/13	3	〃
4		4	〃
5	4/20	3	〃
6		4	〃
7	4/27	3	〃
8		4	〃
9	5/11	3	〃
10		4	〃
11	5/18	3	〃
12		4	〃
13	5/25	3	〃
14		4	〃
15	6/ 1	3	〃

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/ 1	4	〃
17	6/ 8	3	〃
18		4	〃
19	6/15	3	〃
20		4	〃
21	6/22	3	〃
22		4	〃
23	6/29	3	〃
			/

教科書	『特殊鍼灸テキスト』（北出勝利ほか編、医歯薬出版 2014 年刊）¥6,200-(+税)
参考書	
評価方法 評価基準	ベストケースとワーストケースの症例報告の各 1 例(症例のカルテのうち、初診時 および初回時・最近時のコピーを添付)のレポート提出の内容を評価基準とする。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	症例検討臨床実習〔鍼灸〕 (第2学年 月曜日 前期：3・4時限目)
担当講師	浦山 久嗣
授業の目標 授業の概要	テーマ：総合診断臨床実習と症例検討カンファレンス 目標：①東西両医学からの多角的な診断と治療およびカルテ記載法を身に付ける。 ②十分なカンファレンスに基づいた症例検討報告の作成法を習得する。 概要：多角的な診断と治療を前提としたカンファレンスと症例報告を行う。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			\

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			/
1	6/29	4	症例報告モデルの検証
2	7/ 6	3	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス
3		4	以下同じ
4	7/13	3	〃
5		4	〃
6	8/ 3	3	〃
7		4	〃

教科書	『鍼灸学积難』(李 鼎 著、浅野 周 訳 ; 源草社 2000 年刊)¥4,000-(+税)
参考書	
評価方法 評価基準	治療カルテ 100 症例と症例報告 3 例(西洋系・中医系・経絡治療系)の提出と、その内容を評価基準とする。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第2学年 月曜日 後期：3・4時限 目)
担当講師	今野 正弘
授業の目標 授業の概要	目標：東洋医学概論に理論が実際に臨床に生かせる。 概要：病証病理を理解し、臨床に応用できる。 四診（望聞問切）を理解し、臨床に応用できる。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講義内容
1	9/ 7	3	1 実習 (望診・聞診)
2		4	2 実習 (望診・聞診)
3	9/14	3	3 実習 (望診・聞診)
4		4	4 実習 (望診・聞診)
5	9/28	3	5 実習 (望診・聞診)
6		4	6 実習 (問診)
7	10/ 5	3	7 実習 (問診)
8		4	8 実習 (問診)
9	10/12	3	9 実習 (問診)
10		4	10 実習 (問診)
11	10/19	3	11 実習 (切診)
12		4	12 実習 (切診)
13	10/26	3	13 実習 (切診)
14		4	14 実習 (切診)
15	11/ 2	3	15 実習 (切診)

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/ 2	4	16 実習 (病理・病証)
17	11/ 9	3	17 実習 (病理・病証)
18		4	18 実習 (病理・病証)
19	11/16	3	19 実習 (病理・病証)
20		4	20 実習 (病理・病証)
21	11/30	3	21 実習 (病理・病証)
22		4	22 実習 (病理・病証)
23	12/ 7	3	23 実習 (病理・病証)

教科書	日本鍼灸医学基礎編 (経絡治療学会編) ¥5,400(税引)
	日本鍼灸医学臨床編 (経絡治療学会編) ¥10,800(税引)
参考書	臓腑経絡からみた薬方と鍼灸 第一、二巻、たにぐち書店 各々¥7,000(税引)
	臓腑経絡からみた薬方と鍼灸 第五巻 (たにぐち書店) ¥8,095(税引)
	温灸読本 (医道の日本社) ¥3,600 (税引)
	1人で学べる脈診習熟ノート (上・下) (たにぐち書店) ¥7,000 (税引)
	これからの「脈診」の話をしよう!! (たにぐち書店) ¥4,000 (税引)
評価方法 評価基準	症例から経絡治療における病理考察ができる。授業への出席・態度
	試験結果 (症例報告) 60%
	出席状況 30%
	授業態度 10%

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔各課程〕 (第2学年 火曜日 後期：3・4時限目)
担当講師	小林 巖
授業の目標 授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床で患者さんの施術を通じて、東洋医学的な診察、弁証、診断、治療法を体得すること。 2. 患者さんの施術を通じて、診断、鑑別診断、治療、選穴などの臨床応変能力を習得する。

授業計画

後 期

回	月日	時限	講義内容
1	9/ 8	3	患者さんの臨床治療を指導
2		4	患者さんの臨床治療を指導
3	9/15	3	患者さんの臨床治療を指導
4		4	患者さんの臨床治療を指導
5	9/29	3	患者さんの臨床治療を指導
6		4	患者さんの臨床治療を指導
7	10/ 6	3	患者さんの臨床治療を指導
8		4	患者さんの臨床治療を指導
9	10/13	3	患者さんの臨床治療を指導
10		4	患者さんの臨床治療を指導
11	10/20	3	患者さんの臨床治療を指導
12		4	患者さんの臨床治療を指導
13	10/27	3	患者さんの臨床治療を指導
14		4	患者さんの臨床治療を指導
15	11/10	3	患者さんの臨床治療を指導

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/10	4	患者さんの臨床治療を指導
17	11/24	3	患者さんの臨床治療を指導
18		4	患者さんの臨床治療を指導
19	12/ 1	3	患者さんの臨床治療を指導
20		4	患者さんの臨床治療を指導
21	12/ 8	3	患者さんの臨床治療を指導
22		4	患者さんの臨床治療を指導
23	12/15	3	患者さんの臨床治療を指導
24			/
25			
26			
27			
28			
29			
30			

教科書	なし
参考書	
評価方法 評価基準	出席状況、学習態度、臨床実技の能力を総合評価。

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			/
1	12/15	4	患者さんの症例を検討する
2	1/12	3	患者さんの症例を検討する
3		4	患者さんの症例を検討する
4	1/19	3	患者さんの症例を検討する
5		4	患者さんの症例を検討する
6	2/ 2	3	患者さんの症例を検討する
7		4	患者さんの症例を検討する

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	学生の症例報告から

令和2年度 東洋療法教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	研究方法 (第2学年 水曜日 前期：3時限目)
担当講師	渡部 正司
授業の目標 授業の概要	目標：研究方法の基礎を学習し、実践する力を養う。 概要：先行研究論文から研究の基礎知識を学習し、自身の研究をデザインする。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/ 8	研究の意義、エビデンス、文献検索について
2	4/15	研究論文を抄読し、論文構造を考察する。
3	4/22	研究論文を抄読し、研究テーマを考察する。
4	5/13	研究論文を抄読し、研究テーマを考察する。
5	5/20	研究論文を抄読し、背景を考察する。
6	5/27	研究論文を抄読し、背景を考察する。
7	6/ 3	研究論文を抄読し、プロトコルを考察する。
8	6/10	研究論文を抄読し、プロトコルを考察する。
9	6/17	研究論文を抄読し、プロトコルを考察する。
10	6/24	研究論文を抄読し、結果を考察する。
11	7/ 1	研究論文を抄読し、結果を考察する。
12	7/ 8	研究論文を抄読し、全体を考察する。
13	7/15	研究論文を抄読し、全体を考察する。
14	7/22	各々の研究デザインを検討、考察する。
15	8/ 5	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	みんなの EBM と臨床研究, 神田善伸著, 南江堂, ¥3,600+税
参考書	鍼灸臨床最新科学-カニズムとエビデンス, 川喜田健司・矢野忠 編集, 医歯薬出版, ¥7,500+税
評価方法 評価基準	試験結果 60%
	授業姿勢 40%

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	卒業論文 (第2学年：木曜日前期4時限目・水曜日後期3時限目)
担当講師	安斎 昌弘 (実務経験のある教員)
授業の目標 授業の概要	鍼灸按摩指(東洋療法)に関する課題を自ら見出し研究を行い、基本的な知識・技術・態度を修得し研修・学会での発表と臨床を集積して症例報告書の作成提出 講義演習、関連団体等発表会への参加

授業計画

前期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/ 9	卒業研究(学会参加、口演発表会含めて)の臨床
2	4/16	上記計画書の作成
3	4/23	演習
4	5/ 7	演習
5	5/14	演習
6	5/21	演習
7	5/28	演習
8	6/ 4	演習
9	6/11	演習
10	6/18	中間発表 関連団体研修、学会への参加等
11	6/25	演習
12	7/ 2	演習
13	7/ 9	演習
14	7/16	演習
15	8/ 6	中間発表 関連団体研修、学会への参加等

後 期

回	月 日	講 義 内 容
16	9/ 9	演習
17	9/16	演習
18	9/23	演習
19	10/ 7	演習
20	10/14	演習
21	10/21	演習
22	10/28	演習
23	11/11	症例報告の作成
24	11/25	〃
25	12/ 2	〃
26	12/ 9	12/中～下旬に卒業論文発表（学内）実施
27	12/16	↑ ↓
28	1/13	
29	1/20	論文校正
30	2/ 3	卒論の提出

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	関連団体、学会、研究会等の参加及び口演研究、論文の作成と期日までの提出

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（臨床教育専攻科）

※高等教育修学支援制度の対象外です

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	実務内容
東洋医学臨床論Ⅰ (鍼灸)	1年次	90	浦山久嗣	30年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸理論	1年次	60	安齋昌弘	40年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
東洋医学特論Ⅱ	2年次	30	浦山久嗣	30年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
卒業論文	2年次	60	安齋昌弘	40年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
	合計時間数	240			